

## V ケアセンター南昌自己評価報告書・資料編【目次】

(資料 1)	ケアセンター南昌・施設見学者一覧表	ページ	18
(資料 2)	南昌福祉の里文化祭への参加者の状況		18
(資料 3)	ケアセンター南昌主催による研修会の開催状況・参加者		18
(資料 4)	インシデント・アクシデント等の発生状況		22
(資料 5)	感染症に関する職員等への研修会等の開催状況		23
(資料 6)	ケアセンター利用者の他医療機関への依頼等の状況		24
(資料 7-1)	看取りの対応に際し、家族等に説明する文書の内容		25
(資料 7-2)	看取りの際の書面による同意文書		27
(資料 8)	利用者からの嗜好調査結果について		28
(資料 9)	知識・技術の向上に資するための外部研修会への参加状況		30
(資料 10)	実習生の受入れ状況		31
(資料 11)	倫理審査委員会の開催状況		31
(資料 12)	平成 29 年度ストレスチェック集団分析結果		32
(資料 13)	平成 28 年度年次有給休暇の取得状況		34
(資料 14)	光熱水費の推移		35
(資料 15)	年次別・事業所別利用者の状況		36
(資料 16)	平成 29 年度ケアセンター南昌事業所別 目標と実績		37
(参考資料)	ケアセンター南昌・施設の概要		39

(資料1) ケアセンター南昌・施設見学者一覧表 (H25年度～H29年度)

年 度	来館者数・人	団体数
25年度	474	41
26年度	521	39
27年度	169	22
28年度	150	20
29年度	342	21
合 計	1,656	143

(資料2) 南昌福祉の里文化祭への参加者の状況 (H25年度～H29年度)

年 度	来館者数・人
25年度	400
26年度	396
27年度	385
28年度	417
29年度	302
合 計	1,900

(資料3) ケアセンター南昌主催による研修会の開催状況・参加者

(研修会場：5階交流センター・原則18:00～19:00頃迄)

平成25年度 開催月日	研 修 名	講師所属	氏 名	参加人数 (人)
25.7.1～2	リハビリ研修会	鹿児島大学大学院	川平和美教授	38
25.8.26	センター内・各事業所業務理解のための勉強会①	博愛荘・相談室	戸村淳一相談員	34
25.8.28	センター内・各事業所業務理解のための勉強会② (南昌病院) (こずかた診療所)	南昌病院M こずかた診療所	吉田利春 MSW 菊池久美子看護師	59
25.8.30	センター内・各事業所業務理解のための勉強会③ (やはば指定居宅支援事業所) (博愛荘デイケアセンター)	居宅支援事業所 デイケアセンター	滝村光一管理者 藤村佳裕科長	50
25.9.2	センター内・各事業所業務理解のための勉強会④ (デイサービスつむぎ) (矢巾町地域包括支援センター)	つむぎ 地包支援センター	菊池智子管理者 吉田 均所長	48

平成 25 年度 開催月日	研 修 名	講師所属	氏 名	参加人数 (人)
25. 9. 4	センター内・各事業所業務理解のための勉強会⑤ (訪問看護ステーションやはば) (訪問リハビリテーションこずかた)	訪問看護 s やはば 訪問リハこずかた	坂本由美子管理者 山田主任理学療法士	43
25. 9. 5	リハビリ研修会	鹿児島大学大学院	川平和美教授	20
25. 9. 6	センター内・各事業所業務理解のための勉強会⑥ (グループホーム敬寿荘)	敬寿荘	山下秀子管理者	47
25. 9. 9	センター内・各事業所業務理解のための勉強会⑦ (ヘルパーステーションやはば)	ヘルパー ステーション	下斗米管理者	39
25. 9. 27	ケアのこころ	秋田大学	中村順子教授	132
25. 10. 22	安全確保のための車椅子知識	株式会社松永製作所	小川祐幹氏	76
25. 11. 11	研究の ABC	ケアセンター南昌	吉岡尚文センター長	63
26. 1. 31	ケアセンター南昌開設 1 周年記念講演会 基調講演「医療・介護の知識～事例を通して～」	ケアセンター南昌	吉岡尚文センター長	98
	記念講演「介護職員が必要とする高齢者の医療・ 介護の知識～特に心臓病の既往を有する利用者へ の留意点～」	秋田大学	伊藤 宏教授	
26. 3. 23	院内感染対策 (伝達研修)	博愛荘	熊谷 拓看護師	40

平成 26 年度 開催月日	研 修 名	講師所属	氏 名	参加人数 (人)
26. 6. 19	高齢者の排泄ケア	秋田県仙北市	市川晋一診療所長	81
26. 9. 18	障害者雇用と課題	独立行政法人高齢・障害・求職者雇用 支援機構岩手障害者職業センター所長		50
26. 12. 5	ケアセンター南昌特別講演会「高齢者の貧血」	秋田大学	澤田賢一学長	114
27. 1. 21	おむつのあて方・高齢者のスキンケアについて	北日本本社メディ カルケアグループ SP サポート	菊池登美子氏	43
27. 2. 6	ケアセンター南昌開設 2 周年記念講演会「高齢者 における炭酸泉効果のメカニズムとその活用」	国際医療福祉大学・ 大学院	前田眞治教授	94

平成 27 年度 開催月日	研 修 名	講師所属	氏 名	参加人数 (人)
27. 6. 11	職員のメンタルヘルス	南昌病院	長谷川警二 臨床心理士	39
27. 6. 24	ハラスメントを学ぶ～事例を通して～	秋田弁護士会	長岐和行弁護士	73
27. 8. 6	ケアセンター南昌で実際に有事（火災・災害）が おこったら・・・	盛岡消防署 矢巾分署	今松 修署長	39
27. 10. 9	高齢者の感染症対策	秋田大学医学部附属 病院呼吸器内科学	武田正秀助教	58
27. 11. 17	認知症高齢者の理解	博愛荘	佐々木信宏 介護福祉士	33
27. 12. 9	事故の発生・対応と再発防止 ～身近な事例から～	博愛荘	川戸多喜子 看護総師長	36
28. 2. 25	法医学からのメッセージ	ケアセンター南昌	吉岡尚文センター長	55
28. 3. 18	ストレスチェックの理解 ～みんなでストレスチェックを受けよう～	公益財団法人岩手 県予防医学協会	茂木 隆医師	56

平成 28 年度 開催月日	研 修 名	講師所属	氏 名	参加人数 (人)
28. 6. 28	ケアセンター南昌開設 3 周年記念講演会・リハビリ・介 護のための循環器の知識「心臓血管術後患者への対応」	秋田大学	山本文雄学長	58
28. 7. 15	ケアセンター南昌特別講演会 「裁判例から学ぶ介護関連事故の責任」	木ノ元総合法律 事務所	木ノ元直樹弁護士	61
28. 8. 12	救命救急の知識を深めよう！ ～心配蘇生の方法、AEDの使い方から	盛岡南消防署 矢巾分署	(職員)	48
28. 10. 6	お薬についてのあれこれ！ ～高齢者と小児に対する薬の知識について～	矢巾西口薬局	亀田隆浩薬剤師	44
28. 10. 17	介護施設における口腔機能の重要性	国民健康保険 衣川歯科診療所	佐々木勝忠所長	56
28. 10. 24	地域包括ケアについて	医療法人社団帰厚堂	木村宗孝理事長	89
28. 11. 29	感染症対策	南昌病院	菅野千治外科部長	40
29. 3. 23	防火・防災について	ケアセンター南昌	小泉進防火管理者	48

平成 29 年度 開催月日	研 修 名	講師所属	氏 名	参加人数 (人)
29. 4. 14	ケアセンター南昌開設 4 周年記念講演会 「腰痛予防と骨粗しょう症」	帝京大学医学部 整形外科	脇本信博医師	71
29. 6. 21	元気で長生き口腔を通じて	子田歯科医院	子田晃一歯科医	61
29. 7. 14	ケアセンター南昌のサービスを知る①	①敬寿荘②ショーツステイ③博愛荘 ④通所リハ⑤つむぎ⑥居宅支援	各事業所管理者等	48
29. 7. 21	ケアセンター南昌のサービスを知る②	①診療所②訪問リハ③訪問看護④訪問介護・訪問入浴 ⑤保育園⑥地域包括支援⑦郡医療介護連携支援センター	各事業所管理者等	50
29. 8. 17	利用者満足度調査の結果と接遇について	博愛荘 訪問看護 s やはば	川戸多喜子総師長 坂本由美子管理者	45
29. 8. 31	糖尿病について	こずかた診療所	三浦秀悦診療所長	34
29. 9. 20	事故発生時の対応と再発予防	博愛荘	川戸多喜子総師長	32
29. 10. 18	多職種連携とチーム医療を考える	町立西和賀 さわうち病院	北村道彦院長	59
29. 11. 14	施設における高齢者のフィジカルアセスメント	岩手医科大学附属 病院集中治療部	鎌田景子集中ケ ア認定看護師	45
29. 12. 13	感染症・食中毒の予防	感染症予防対策 委員会	熊谷 拓看護師	31
30. 2. 7	①認知症ケア実践者として ～共に暮らし、その人らしさを支える～ ②認知症ケア ～家族支援の視点から～	敬寿荘 つむぎ	佐藤恭子 介護福祉士 小野寺亜希 介護福祉士	41
30. 2. 28	身体拘束排除について	博愛荘	川戸多喜子総師長	32

(資料4) インシデント・アクシデント等の発生状況 (H25年度～H29年度)

(単位：件)

《インシデント・アクシデント発生報告》	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	計
1. 指示／伝達						
2. 治療・処置						
3. 処方・予薬		27	21	28	13	89
4. 調剤管理	7					7
5. ドレーンチューブ類管理		1			1	2
6. 転倒	41	68	62	64	106	341
転落	69	76	77	60	85	367
7. 検査						
8. 療養上の世話						
9. 無断外出・外泊・離棟	4	4	7	6	5	26
10. 暴力	2	4	3		2	14
11. 給食・栄養	3		6	8	6	23
12. 診療情報管理						
13. 患者・家族への説明						
14. 施設・設備				1		1
15. その他	23	38	40	72	66	239
合計	149	218	216	242	284	1,109

(単位：件)

《 レベル別 》	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	計
レベル0	5	1		51	37	94
レベル1	66	101	128	104	104	503
レベル2	46	58	50	54	100	308
レベル3a	24	44	32	25	36	161
レベル3b	8	13	6	7	6	40
レベル4						
レベル5		1		1	1	3
合計	149	218	216	242	284	1,109

(単位：件)

《 部署別 》	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	計
博愛荘3階	69	102	93	100	135	499
博愛荘4階	25	38	33	50	46	192
SSやはば	18	28	24	24	26	120
敬寿荘	18	17	20	28	39	122
DS	6	8	8	7	5	34
DC	1	7	12	13	18	51
栄養科	1	6	15	14	9	45
リハ	10	7	10	4	5	36
事務		1				1
入浴	1	2				3
訪問		1				1
診療所		1	1	1		3
訪問リハ				1	1	2
合計	149	218	216	242	284	1,109

## (資料5) 感染症に関する職員等への研修会等の開催状況

開催年月日	研修名	講師所属	氏名	参加人数 (人)
26.3.23	院内感染対策(伝達研修)	博愛荘	熊谷 拓看護師	40
27.10.9	高齢者の感染症対策	秋田大学医学部 附属病院呼吸器 内科学	武田 正秀助教	58
28.11.29	感染症対策	南昌病院	菅野千治外科部長	40
29.12.13	感染症・食中毒の予防	感染症予防対策 委員会	熊谷 拓看護師	31

(資料 6) ケアセンター利用者の他医療機関への依頼等の状況 (H25 年度～H29 年度)

医療機関名	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	計
こずかた診療所	54	96	114	147	176	587
南昌病院	16(4)	15(6)	10(3)	10(7)	8(3)	59(23)
盛岡日赤	4(2)	22(9)	13(6)	7(4)	9(6)	55(27)
県立中央	3(2)	1		1(1)		5(3)
岩手医大	6	3(1)	1	1	6	17(1)
友愛病院	1	3(2)	3(1)	2	7(3)	16(6)
市立病院		4			4	8
都南病院		2	1(1)	6(1)		9(2)
川久保病院		2	2(1)		2(2)	6(3)
徳永整形		1	1	5	3	10
E肌クリニック	4			21		25
栃内第2病院				1(1)		1(1)
足澤整形				3		3
盛岡病院				1(1)	7(1)	8(2)
南耳鼻科		1		4		5
野崎内科			1	1		2
神の山歯科				2	1	3
齊藤歯科					1	1
青山整形		2			1	3
合計	88(8)	152(18)	146(12)	212(15)	225(15)	823(15)

※ ( ) は入院

## (資料 7-1) 看取りの対応に際し、家族等に説明する文書の内容

### 介護老人保健施設 博愛荘における『看取り』について

#### 1. 看取りについての基本的理念

介護老人保健施設は、在宅復帰を目的とする施設であり、在宅生活支援という重要な役割もあります。長期にわたり在宅生活を支援していくなかで、いつかはおとずれ終末期を介護老人保健施設で希望される利用者様も多くなってきております。

介護老人保健施設博愛荘（以下、「当施設」という。）では、医師の判断のもと、心身機能の障害が回復不能な状態にあり、近い将来死に至ることが予測される利用者様に安らかな最期を迎えていただくため、施設での看取りを行います。

見取りにおいては、利用者様の意思を最大限に尊重しながら、お亡くなりになるまでの期間、尊厳を保ち、減衰する生命活動に沿った医療・看護・介護を含む総合的な援助を行うことを旨と致します。

#### 2. 看取りの意思確認等

##### (1) 意思確認の方法

- ① 利用者様の意思確認を前提と致しますが、利用者様が意思を表示できない場合は、利用者様の意思を代理すると思われる方に対し意思確認を行います。配偶者や家族様が代理人となることもあり、成年後見人や利用者様が指定した方が代理人となる場合もあります。
- ② 説明は医師が行い、看護師・介護士若しくは支援相談員等が同席します。
- ③ 同意書は利用者様（代理人）と施設において保存し、施設では診療録にもその内容を記載いたします。
- ④ 一旦、同意した内容等に変更があれば、いつでも訂正・撤回することができます。その際でもケアは誠意をもって行います。
- ⑤ 自宅での見取りや病院への搬送を希望される利用者様は、ご相談下さい。

##### (2) 看取り

- ① 医師が終末期医療を担当致します。
- ② 看護・介護は24時間体制で行います。
- ③ 利用者様の看取りへの同意を前提に、予め看取り内容を利用者様あるいは代理人やご家族様と相談をしながら見取りを行います。

(3) 看取りに際し当施設で対応可能な医療行為は、次の通りです。

- ・ 経管栄養管理（造設済みの方）
- ・ 輸血（500ml～1000ml / 1日程度）
- ・ 酸素吸入
- ・ 喀痰吸引
- ・ 経口薬投与
- ・ 必要に応じチューブおよびカテーテルの交換
- ・ 疼痛の緩和など症状軽減のために必要な薬剤の投与等の処置

(4) 看取りに際し家族等に提供する控室等

① 設備

付添いのための控室・備品等についてはご相談下さい。

(5) 看取り

- ① 食事・排尿・排便等の日常生活についての援助及び支援は従来通り行います。
- ② 身体の清潔維持や体位交換等の援助及び支援を行います。
- ③ 必要な場合は、予め合意した内容の医療処置を行います。
- ④ 状態急変時等は、速やかにご家族様へ連絡致します。
- ⑤ 死後の処置を致します。
- ⑥ 利用者様やご家族様の精神的援助を致します。

※ 看取りの内容の変更や訂正等は看護師若しくは支援相談員等にご相談下さい。

※ 看取りに対する苦情や要望等は、遠慮なく支援相談員や介護支援専門員等にご相談下さい。

※ 各種手続きの相談または援助を致しますので、看護師若しくは支援相談員にご相談下さい。

(資料 7-2) 看取りの際の書面による同意文書

同 意 書

介護老人保健施設 博愛荘 施設長 殿

私は、\_\_\_\_\_ の、見取りについて医師の説明を受け、「博愛荘」の看取り内容を理解しました。私の意向に沿ったものとして、下記事項を確認し、全身状態が悪化したり、死期が迫った場合でも病院には搬送せず貴施設内での看取りを希望します。

記

(確認事項)

- ① 施設で提供できる医療行為は以下の通りであること。
  - ・ 経管栄養管理
  - ・ 酸素吸入
  - ・ 経口薬投与
  - ・ 疼痛の緩和など症状軽減のために必要な薬剤の投与等の処置
  - ・ 点滴 (500ml～1000ml / 1日程度)
  - ・ 喀痰吸引
  - ・ チューブおよびカテーテルの交換
- ② 身体的な介護、精神的な介護に全力を尽くし、尊厳を守りながら永遠の安らぎへの支援をすること。
- ③ 苦痛や痛みがあるときは、医師に相談し、指示を仰ぎながら症状を和らげる対応を行うこと。
- ④ 同意した内容を撤回できることやそれにより不利益の発生がないこと。
- ⑤ その他( )

以上

平成 年 月 日

入 所 者 氏名 \_\_\_\_\_

同 意 者 住所 \_\_\_\_\_

代理人の場合

氏名 \_\_\_\_\_ 印 (続柄 \_\_\_\_\_ )

説明医師 氏名 \_\_\_\_\_ 印

施設立会人 看護師 ・ 介護福祉士 ・ 支援相談員

氏名 \_\_\_\_\_ 印

氏名 \_\_\_\_\_ 印

(資料8) 利用者からの嗜好調査結果について【平成29年5月：通所サービス利用者】

・回収内訳（男性65人・女性79人・計144人、平均年齢：79.27歳、回収率96.0%）

●《硬さについて》		かたい	ちょうど良い	やわらかい	その他
ご飯の炊き方はどうですか？	人	8	130	7	1
	%	4.2	90.3	4.9	0.7
肉の硬さはどうですか？	人	16	105	6	17
	%	11.1	72.9	4.2	11.8
魚の硬さはどうですか？	人	5	125	6	8
	%	3.5	86.8	4.2	5.6

●《味付けについて》		濃い	ちょうど良い	うすい	その他
味噌汁の味付けはどうですか？	人	11	106	17	10
	%	7.6	73.6	11.8	6.9
肉料理の味付けはどうですか？	人	4	110	8	22
	%	2.8	76.4	5.6	15.3
魚料理の味付けはどうですか？	人	5	120	10	9
	%	3.5	83.3	6.9	6.3
煮物の味付けはどうですか？	人	3	117	16	8
	%	2.1	81.3	11.1	5.6
サラダの料理の味付けはどうですか？	人	1	114	19	10
	%	0.7	79.2	13.2	6.9

●《味について》		美味しい	普通	まずい	その他
味噌汁のお味はどうですか？	人	77	53	10	4
	%	53.5	36.8	6.9	2.8
肉料理のお味はどうですか？	人	66	63	2	13
	%	45.8	43.8	1.4	9.0
魚料理のお味はどうですか？	人	77	61	2	4
	%	53.5	42.4	1.4	2.8
煮物のお味はどうですか？	人	75	61	4	4
	%	52.1	42.4	2.8	2.8
サラダのお味はどうですか？	人	79	57	3	5
	%	54.9	39.6	2.1	3.5

【平成 29 年 11 月：博愛荘・ショートステイやはば利用者嗜好調査結果報告書】

・回収内訳（男性 17 人・女性 94 人・計 111 人、平均年齢：86.1 歳、回収率 96.0%）

● 《硬さについて》		かたい	ちょうど良い	やわらかい	その他
ご飯の炊き方はどうですか？	人	4	105	2	0
	%	3.6	94.6	1.8	0.0
肉の硬さはどうですか？	人	11	92	4	4
	%	9.9	82.9	3.6	3.6
魚の硬さはどうですか？	人	6	102	1	2
	%	5.4	91.9	0.9	1.8

● 《味付けについて》		濃い	ちょうど良い	うすい	その他
味噌汁の味付けはどうですか？	人	5	91	13	2
	%	4.5	82.0	11.7	1.8
肉料理の味付けはどうですか？	人	4	87	13	7
	%	3.6	78.4	11.7	6.3
魚料理の味付けはどうですか？	人	2	87	19	3
	%	1.8	78.4	17.1	2.7
煮物の味付けはどうですか？	人	3	87	20	1
	%	2.7	78.4	18.0	0.9
サラダの料理の味付けはどうですか？	人	3	87	19	2
	%	2.7	78.4	17.1	1.8

● 《味について》		美味しい	普通	まずい	その他
味噌汁のお味はどうですか？	人	74	28	7	2
	%	66.7	25.2	6.3	1.8
肉料理のお味はどうですか？	人	66	34	4	7
	%	59.5	30.6	3.6	6.3
魚料理のお味はどうですか？	人	64	37	7	3
	%	57.7	33.3	6.3	2.7
煮物のお味はどうですか？	人	71	33	6	1
	%	64.0	29.7	5.4	0.9
サラダのお味はどうですか？	人	65	38	6	2
	%	58.6	34.2	5.4	1.8

(資料9) 知識・技術の向上に資するための外部研修会への延参加状況 (H25年度～H29年度)

所 属	職種等	25・対象実人員	29・対象実人員	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
老健・博愛荘 ショートステイ	センター長	1	1	14	8	7	4	7	
	看護職	15	17	17	27	23	17	23	
	管理栄養士	1	2	4	3	8	9	7	
	介護職	26	40	20	22	17	19	23	
	相談員	2	3	13	6	1	1	4	
	歯科衛生士	1	1	5		3	1		
	リハビリ	PT	2	3	15	24	26	20	16
		OT	5	4	36	84	31	23	8
ST		—	1	—	—	—	4	7	
事務局	3	3	2	4		1	7		
通所リハビリ	介護職 (介護)	11	13	4	4		2	1	
居宅支援事業所	管理者 (補佐)	1	1	2	1	3	6	10	
	介護支援専門員	1	1	7	4	1	18	16	
こずかた 診療所	医師	2	2	3	8	13	1	5	
	看護師	3	2	1					
	事務局	4	2	3	1	4		1	
	リハビリ	PT	5	—	30	38	7		
OT		4	—	10	7	8			
ST		1	—	8	8	5			
訪問看護 ステーション	管理者	1	1	14	8	10	13	9	
	訪問介護員	4	6	23	15	15	16	17	
ヘルパー ステーション	管理者	1	1	9	9	4	5	8	
	訪問介護員	16	19	30	25	10	17	23	
訪問リハビリ	リハビリ	PT	4	5	37	46	37	21	36
		OT	3	3	14	21	43	18	39
敬寿荘	管理者	1	1	4	20	8	9	2	
	介護職	16	15	34	49	28	52	18	
つむぎ	管理者	1	1	3	4	3	2	1	
	看護師	1	1		2	1			
	介護職	3	3	9	4	5	4	1	
ケアセンター	事務局	2	3	2		2	3	2	
帰厚堂	参与	—	1				22	28	
(計)		(141)	(156) 30	(372)	(452)	(323)	(308)	(319)	

(資料 10) 実習生の受入れ状況 (H25 年度～H29 年度)

(単位：人)

年 度		25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
実習機関名 (実習内容)						
博愛荘 (介護実習)	受入回数	1	9	10	14	16
	人 数	12	34	39	48	53
博愛荘 (PT・OT 臨床)	受入回数		6	5	7	7
	人 数		6	6	8	8
デイケアセンター (看護実習) (介護実習)	受入回数	12	3	4	6	3
	人 数	89	82	85	86	77
訪問介護 (介護実習)	受入回数	1	1	2	2	1
	人 数	32	32	33	69	70
訪問看護 (看護実習)	受入回数	4	5	5	6	6
	人 数	84	43	48	50	50
グループホーム (介護実習)	受入回数		2		1	2
	人 数		4		1	5
つむぎ (介護実習)	受入回数			1	1	
	人 数			1	1	
合 計	受入回数	18	26	27	37	35
	人 数	217	201	212	263	263

(資料 11) 倫理審査委員会の開催状況 (H25 年度～H29 年度)

年 度	開催回数	開催件数
25 年度	3	8
26 年度	4	10
27 年度	3	3
28 年度	3	5
29 年度	5	5
合 計	18	31

(資料 12) 平成 29 年度ストレスチェック集団分析結果 (単位：人)

	受験者数	仕事の量的負担	職場の支援	総合健康リスク
ケアセンター南昌全体	157 (165)	106 (102)	102 ( 95)	108 ( 96)
ケアセンター南昌男性	35 ( 38)	103 (105)	103 (105)	106 (110)
ケアセンター南昌女性	122 (127)	104 (101)	94 ( 85)	97 ( 85)
各階別	受験者数	仕事の量的負担	職場の支援	総合健康リスク
一階 (事務・外来・訪問他)	58 ( 57)	99 ( 95)	100 ( 98)	99 ( 93)
二階 (デイケア・つむぎ・リハ)	25 ( 30)	120 (108)	106 ( 90)	127 ( 97)
三階 (博愛荘)	22 ( 23)	95 (104)	98 ( 84)	93 ( 87)
四階 (博愛荘・ショート)	28 ( 28)	111 (106)	107 ( 96)	118 (101)
五階 (敬寿荘)	15 ( 16)	103 ( 99)	110 (105)	113 (103)
施設系・居宅系別	受験者数	仕事の量的負担	職場の支援	総合健康リスク
施設系 (博愛荘・ショート・リハ他)	79 ( 74)	106 (108)	102 ( 95)	108 (102)
居宅系 (看護・リハ・介護・居宅)	33 ( 33)	105 ( 97)	96 ( 92)	100 ( 89)

※(平成 28 年度の数値)

高ストレス者の割合

年 度	受験者数	高ストレス者数	割 合
平成 29 年度	157 人	24 人	15.3 %
平成 28 年度	165 人	14 人	8.5 %

※ 健康リスクは①仕事の量的負担 ②上司・同僚の支援 ①+②=総合健康リスク

※ 健康問題のリスクを標準集団の平均を 100 としている。健康リスクが 120 を超える場合には、何らかの仕事のストレスに関する問題が生じている場合が多いので、評価の際の参考とする。

## 【分析結果】

- 1 平成 29 年度の対象者数（産休等の休職者除く） 164 人  
受験者数 157 人 受験率（95.7%）  
「参考」  
平成 28 年度の対象者数（産休等の休職者除く） 182 人  
受験者数 165 人 受験率（90.7%）
- 2 ケアセンター南昌全体では、仕事の量的負担 106、職場の支援 103、総合健康リスクが標準より高い 108 と前年度より数値が高くなっている。  
なお、前年度より数値が下がったのは、センター男性（仕事量、職場支援、総合）、博愛荘 3 階（仕事量）、施設系（仕事量）であった。
- 3 センター内の男性と女性を比較した場合は、男性の方が健康リスクに高い傾向がある。
- 4 各階別の仕事の量的負担が高いと感じている順は、①二階 120 ②四階 111
- 5 各階別の職場に支援が低いと感じている順は、①五階 110 ②四階 107
- 6 各階別の総合健康リスクは 93～127 であり、標準集団の平均値以上の方が多く、二階 127、四階 118 と高く、二階は 120 を越えており何らかの仕事のストレスに関する問題が生じている可能性がある。
- 7 施設系と居宅系を比較すると、施設系の方が健康リスクに高い傾向がある。
- 8 高ストレス者の割合 受験者 157 人中、高ストレス者数 24 人、割合 15.3%であり、平成 28 年度よりも高ストレス者が増加している。
- 9 高ストレス者から医師面接希望者数 0 人  
高ストレス者及び高ストレス者以外からの健康相談希望者数 1 人

(資料 13) 平成 28 年度年次有給休暇の取得状況

		人 数	H28 付与 日 数	取得日数	取得率%	1 人平均 取得日数	備 考
ケアセン ター南昌	事務員	6	90	62.0	68.3	10.3	37.0%
	労務・運転・洗濯他	13	150	39.0	26.0	3.0	
	計	19	240	101.0	41.9	5.3	
こずかた 診療所	医師	1	14	0.0	0.0	0.0	41.5%
	看護師	2	34	23.0	66.2	11.3	
	事務員	2	25	25.0	100.0	12.5	
	レントゲン技師	1	14	14.0	100.0	14.0	
	計	6	87	62.0	70.7	10.3	
訪問リハ	P T	4	80	22.0	27.5	5.5	16.1%
	O T	3	60	11.0	18.3	3.7	
	計	7	140	33.0	23.6	4.7	
博愛荘	看護師	16	234	91.5	39.1	5.7	45.7%
	准看護師	2	34	15.5	45.6	7.8	
	介護職員	46	602	289.0	48.0	6.3	
	相談員	3	58	16.0	27.6	5.3	
	管理栄養士	2	34	29.0	85.3	14.5	
	歯科衛生士	1	14	5.5	39.3	5.5	
	P T	3	60	9.5	15.8	3.2	
	O T	5	100	38.0	38.0	7.6	
	S T	1	20	15.0	75.0	15.0	
	事務員	2	40	20.0	48.8	9.8	
計	81	1,196	529.0	44.2	6.5		
つむぎ	介護他	5	106	55.0	51.9	11.0	34.8%
通所 DC	介護他	14	238	158.0	66.4	11.3	48.6%
訪問看護	看護師	6	94	33.0	35.1	5.5	25.3%
ヘルパー	介護職員	16	185	101.5	54.9	6.3	8.9%
居宅支援	相談員	2	40	9.5	23.8	4.8	23.8
敬寿荘	介護職員	16	258	110.0	42.6	6.9	20.2%
センター 計		172	2,584	1,192.0	46.1	6.9	—
帰厚堂		532	8,052	3,507.0	43.6	6.6	39.4%

(資料 14) 年次別・光熱水費等の推移 (H25 年度～H29 年度)

●使用電気量と料金

年 度 電 気	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
使用量 (Kwh)	1, 214, 520	1, 180, 810	1, 163, 180	1, 199, 960	1, 228, 670
使用量 前年比 (%)		97. 2	98. 5	103. 2	102. 4
料 金 (円)	26, 393, 181	29, 240, 915	27, 484, 287	26, 439, 142	26, 737, 837

●使用水道量と料金

年 度 水道 (上下)	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
使用量 (m <sup>3</sup> )	23, 606	26, 678	29, 290	27, 732	25, 009
使用量 前年比 (%)		113. 0	109. 8	94. 7	90. 2
料 金 (円)	10, 622, 390	12, 313, 672	13, 546, 329	12, 907, 558	12, 531, 141

(資料 15) 年次別・事業所別利用者の状況 (H25 年度～H29 年度)

●診療所部門

(単位:人)

区 分	患者数等 入所者数等	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
こずかた 診療所	外 来	7,647	8,692	8,154	4,257	4,489
	(1 日平均)	30.0	35.6	33.6	17.4	18.3
	訪問リハビリ	8,155	9,207	8,866	9,126	9,343
	(1 日平均)	33.6	37.7	36.3	37.2	38.3

●施設部門

(単位:人)

区 分	患者数等 入所者数等	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
博愛荘	入 所	22,575	29,005	31,146	31,734	32,200
	(1 日平均)	61.8	79.5	85.1	86.9	88.2
ショート ステイ	入 所	2,731	5,181	5,501	5,654	5,464
	(1 日平均)	7.9	14.2	15.0	15.5	15.0
通所 リハビリ	取扱者数	10,696	11,460	12,283	12,735	12,085
	(1 日平均)	35.1	37.6	40.3	41.5	39.4

●居宅部門

(単位:人)

区 分	患者数等 入所者数等	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
敬寿荘	入 所	6,490	6,440	6,603	6,561	6,567
	(1 日平均)	17.8	17.6	18.0	18.0	18.0
訪問看護	取扱者数	3,525	4,618	4,714	5,030	5,764
	(1 日平均)	9.7	12.7	12.9	12.8	15.8
訪問介護	取扱者数	10,349	11,127	12,233	12,889	12,435
	(1 日平均)	28.4	30.5	33.4	35.3	34.1
訪問入浴	取扱者数	785	810	865	766	913
	(1 日平均)	3.2	3.3	3.6	3.2	3.8
居宅支援	取扱者数	724	715	736	734	730
	(1 日平均)	3.0	2.9	3.1	3.0	3.0
デイサービ スつむぎ	取扱者数	1,297	1,411	2,087	2,009	2,449
	(1 日平均)	4.1	4.5	6.6	6.5	8.0

名称	目 標	実 績
ケアセンター南昌	<ol style="list-style-type: none"> <li>地域包括ケアシステムの構築に向けて、ケアセンター内外の医療・介護事業所や関係機関等と連携しながら多職種連携によるネットワークづくりやチームケアの推進に努める。</li> <li>費用等の削減を図りつつ、健全な事業運営に努める。</li> <li>介護ロボットの使用等による介護従事者の負担の軽減を図るとともに働きやすい職場環境の整備を促進する。</li> <li>様々な自然災害等の発生を想定し、地域住民等から協力を得て定期的に避難・誘導訓練を実施するとともに、防火管理者講習の計画的な受講等により、職員の防災意識の向上に努める。</li> <li>インシデント・アクシデント等の発生の予防と拡大の防止に努めるとともに、事象の分析を十分にを行い、事故の抑止と再発の防止を図る。</li> <li>感染症・食中毒の発生の予防に努めるとともに、保健所等からの指導を得て、発生した際の拡大を最小限にとどめる措置を講じる。</li> <li>倫理規程を遵守するとともに、利用者の個人情報の保護に努める。</li> <li>利用者の身体拘束は行わないことを原則とする。</li> <li>生の終焉に際し、利用者や家族との意思の疎通を図りながら個々の尊厳を最優先した対応に努める。</li> <li>学会・研修会・講習会等へ積極的に参加し、新しい知識や技術の取得に努めるとともに、職員のための研修会の充実を図り、モラルの向上と事務処理能力の向上に努める。</li> <li>最新の設備を備えて本施設の機能を十分に活用するとともに、施設の適正な保守・管理を行い、安全・安心・快適な環境の整備に努める。</li> <li>平成30年度の医療・介護保険同時改定の対応するための情報等の収集に努める。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>地域包括ケアに関する民生・児童委員対象研修会（3回132人参加）や急性期・回復期病院との入退院等支援研修（2回参加者175人）、在宅療養高齢者への医科・歯科連携動向訪問（試行）や口腔ケア・嚥下リハビリテーションに関する実践セミナー（参加者102人）など、ケアセンターで開催した多職種連携研修の企画実施や職員の参加・受講等を通じて、ケアセンター内外とのネットワークづくりやチームケアの実践・展開に取組んだ。</li> <li>年間利用目標の達成に努力するとともに、光熱水費等の経費の削減に努めた。</li> <li>介護ロボットの導入等により、介護職員の業務の軽減等に努めた。</li> <li>ケアセンター南昌防災訓練を行い、夜間の災害時の訓練や全職員による通報連絡訓練を実施（7月）するとともに、自衛消防組織の任務の確認や組織間の連携、更には適切な避難方法等に係る訓練を実施した。（3月）</li> <li>定期的に医療・介護安全対策委員会を開催し、原因の究明と再発の防止に努めた。</li> <li>定期的に感染症予防・対策委員会を開催。定点観測の動向等を注視しつつ、情報の共有と発生の予防等に努めた。</li> <li>各種の発表会等に係る倫理審査会（5回・対象者5人）を開催するなど、個人情報の保護に努めた。</li> <li>身体行動制限廃止委員会を適宜開催し、利用者の状況に応じた適切な対応に努めた。</li> <li>多職種が連携しながら、適時・適切に終末ケアに取組んだ。看取り委員会は2回開催。</li> <li>全国、東北、県レベルでの各種研修会等に積極的に参画するとともに、指導技術の向上に努めた。</li> <li>センター内の煙感知器の交換工事を実施するなど、快適で安心のできる環境整備に努めた。</li> </ol>
こすかた診療所	<ol style="list-style-type: none"> <li>岩手医科大学医学部内科学講座神経内科の協力を得て、新に認知症、パーキンソン病などその他の神経疾患のための専門外来として「神経内科」を開設し、認知症医療等の充実を図る。</li> <li>在宅療養支援診療所に関する情報の収集と準備を進める。</li> <li>訪問診療等の拡充を図るなど、外来患者数の確保に努める。</li> <li>研修会への参加等により、自己研鑽に努める。1人2回以上。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>4月から、こすかた診療所内に新に「神経内科」を開設し、岩手医科大学附属病院神経内科（認知症外来）医師2人が交代で毎週1回（金曜日）の診療を実施。診断のために必要な検査や診察だけではなく、本人や家族への治療や支援を行っている。平成29年度における受診者数は515人（保険診療外101人・保険診療414人）</li> <li>在宅で療養されている方々が、自宅で安心して診療が受けられる訪問診療体制の充実にも努めるとともに、緊急時にも他の医療機関や訪問看護ステーション等と連携しながら24時間、365日サポートする体制の構築に努めた。（平成30年4月在宅療養支援診療所等の施設基準4件・東北厚生局届出済）</li> <li>グループホームや有料老人ホーム等、在宅診療の拡充に努めた。1日当りの外来患者数は18.25人で昨年度を上回った。</li> </ol>
博愛荘	<ol style="list-style-type: none"> <li>利用者・家族に対して満足度調査を実施し、接遇の向上に努める。</li> <li>インシデント・アクシデントの発生予防に努め、事象の分析を通じて再発防止を図る。</li> <li>感染対策のための標準予防策を徹底し、感染症が発生した際の拡大を最小限にとどめる。</li> <li>安定した経営を維持するために、ベッド利用率95%、平均利用者数1日88人を目指す。</li> <li>利用者が有意義な余暇時間を過ごすため、レクリエーションの充実を図る。</li> <li>学会・研修会などに積極的に参加し、専門職としての知識・技術の修得・自己啓発に努める。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>退所者60人に対し満足度調査を実施し42人より回答があった。（回収率70%）接遇およびケア（食事・排泄・入浴・レクリエーション・行事など）については、約8割が満足・やや満足と答えている。しかし、言葉がきつい、ナースコールを押してもすぐ来てくれない、洗濯物の管理が悪いなどの意見があり、十分注意し対応する必要がある。</li> <li>1年間のインシデント・アクシデント報告件数は151件（前年比45件増）であった。インシデント報告の83%（126件）が転倒・転落ケースであった。転倒・転落では繰り返し発生しているケースがあり、離床センサーを追加し予防に努めているが、減少にはつながらなかった。アクシデントは4件（前年比1件増）で、外泊中にC P A状態となり救急搬送されたが死亡したケースが1件、大腿骨骨折で入院手術を施行したケースが3件であった。</li> <li>1月にインフルエンザに感染した利用者が3人発生し、利用者および職員に対して予防投与を実施すると共に感染対策を強化し、さらなる拡大防止に努めた。その他、MRSAや緑膿菌、ESBL保菌者が入所しており、継続した感染対策が必要である。</li> <li>ベッド利用率は94.9%（1日平均利用者数88.2人）でほぼ目標を達成できた。しかし、月により利用者数の減少があるため年間を通して安定した利用者数の確保が課題である。次年度は、超強老化型老健を目指し取り組みを行う予定である。</li> <li>上期は、4階でこすかたランドを利用し野菜作りを行い利用者の満足につながっている。しかし、年間を通してマンパワー不足からレクリエーションの充実につなげることが出来なかった。</li> <li>研究発表は、東北老健大会および日本慢性期医療学会において各1題演題発表することが出来た。研修会の参加は、院外での研修会参加を積極的に薦め、認知症ケア、リスクマネジメント、褥瘡・感染対策、実習指導者研修など約7割のスタッフが参加できた。3階では、スタッフが講師となり月1回の勉強会を開催できた。院内での職員研修会への参加者が少ないため今後の課題である。</li> </ol>
シユートステイ	<ol style="list-style-type: none"> <li>ユニットケアの充実を図り、利用者一人ひとりの生活を支援する。</li> <li>安定した経営を維持するためにベッド稼働率90%（利用者平均16人/日）を維持する。</li> <li>医療ニーズの高い利用者に対応できるよう、専門的知識・技術の研鑽に努める。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>ユニットケアを充実させるため、ユニット毎にスタッフを配置したことで、利用者一人ひとりの個別ケアにつなげることが出来ている。新規利用者が増えたが、利用者個々に合わせたケアを実践するようスタッフの努力が見られた。</li> <li>ベッド利用率は85.9%（1日平均15.5人）僅かに目標達成は出来なかった。年間を通して昨年度より利用者数が僅かながら減少したことに加え、1月に4人がインフルエンザに感染したため利用を制限したことも影響している。博愛荘の交互利用だけでなく、新規利用者の確保が課題である。3. 院外研修では、認知症ケア、高齢者の虐待防止などに参加し、スタッフへ伝達し共有に努めている。さらに、スタッフが講師となり月1回勉強会を開催し、実践に活かしている。院内研修の参加は、一人平均2.4回と参加回数が少ないため今後の課題である。</li> </ol>
デイケア	<ol style="list-style-type: none"> <li>各居宅介護支援専門員との連携を密にし、利用者の今後の方向性を見いだしていくと共に満足できる通所リハビリサービスを提供する。</li> <li>職員間で連携を取りながら接遇向上に努めていく。更なるサービスの質の向上を図る。</li> <li>B2安定した利用者数の確保を図り、利用率90%以上（6～8h）を目指す。</li> <li>送迎にかかわる運転手 同乗者との連携をとりながら安全な送迎サービスを提供する。</li> <li>感染予防に努める。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>担当者会議やカンファレンス、家屋訪問の場を活用して、各居宅介護支援事業所との連携を密にししながら利用者等のニーズの把握に努め、サービスの向上に努めた。また、矢巾町ケアマネ連絡会症例検討会など、ケアマネージャーと意見交換をする場にも参加することができた。</li> <li>毎日のミーティングで、その日の出来事や利用者へ対応する際の注意点等を職員間で共有するよう努めた。接遇向上のための積極的な働きかけはできなかったため、今後の課題である。</li> <li>1日の平均利用者数は39.4人（6～8hのみでは35.95人）で昨年度の平均利用者数41.5人を下回った。平均稼働率も78.7%で昨年度の83.0%を下回り、目標達成はできなかった。</li> <li>大きな事故なく送迎できたが、3月に車椅子の利用者が後方へ転落するアクシデントがあった。同乗職員の対応を再度確認し、再発予防に努めた。</li> <li>送迎時の体調確認を徹底した。また、利用中の体調不良者等に対しては、利用者家族や担当介護支援専門員と連携を図りつつ対応した。感染症のある利用者については、対応をスタッフ間で共有し、感染予防に努めた。</li> </ol>
つむぎ	<ol style="list-style-type: none"> <li>送迎時間、臨時の利用等、出来るだけ希望に沿ったきめ細やかなサービスの提供に努める。</li> <li>居宅支援事業所との連携を密にし、こまめな情報を提供するなど、利用者等からの信頼の確保とサービスの向上に努める。</li> <li>利用率を定員の70%（8.4人）を目指す。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>家族の希望する送迎時間を出来る限り受け入れるとともに、利用者のBPSDに合わせた、個別ケアの充実にも努めた。</li> <li>サービス担当者会議への参加やモニタリング報告の他、随時ケアマネとの連携を図りつつ情報を共有しながら信頼の確保に努めた。</li> <li>年間の1/3に当たる4か月は目標の70%（8.4人）を達成した。7月が73.3%（8.8人）と最も高い実績となった。年間の平均は66.5%（7.98人）と、目標達成には至らなかった。</li> </ol>
訪問看護	<ol style="list-style-type: none"> <li>利用者、家族と信頼関係を築きケアの充実を図る。</li> <li>他事業者との連携を強化し利用者数の定着、安定を図る。（1日平均13人）</li> <li>個々のスキルアップを図り事業所の質を高める。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>スタッフ間での連携を密にし情報共有を十分にを行い、利用者との信頼関係構築に努め、ケアの充実につながっている。継続しケアの充実にも努めていく。</li> <li>連携が強化され、利用者数の増加につながった。（1日平均16.5人）その反面、他事業者との連絡等連携が円滑でなかったところもあり反省すべきところ。</li> <li>各自研修会の参加は行っているが伝達に至らず課題である。</li> </ol>
訪問介護	<ol style="list-style-type: none"> <li>自己研鑽のため、外部研修、内部研修に参加する（一人年2回）。研修内容を共有し、介護の質の向上に努める。</li> <li>関係機関や関係者との連携に努め、利用者数の安定を図る（1日平均利用、障がい者含め40人）。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>外部研修、内部研修への参加は、数名達成できなかったが、事業所内では月に1回定期的に勉強会を実施し研鑽に努めた。</li> <li>担当者会議等へ出席し、関係者との連携に努めたが、9月以降は利用者の入院や入所等で利用者数が減り、安定を図る事ができなかった。1日平均利用者数は34.1人で、昨年度の平均35.3人を下回り、年間目標（40人）の達成には至らなかった。</li> </ol>
訪問入浴	<ol style="list-style-type: none"> <li>利用者家族に対して満足度調査を実施しその結果をもとに質の向上に努め、満足度の高いサービスを目指す。</li> <li>各関係機関と情報を共有し、1日平均4人の利用者を確保する。</li> <li>自己研鑽に努め、利用者の状態に応じた安全な入浴を提供する。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>満足度調査の結果をもとに質の向上を図る事が出来た。</li> <li>利用者の変動が激しかったが、関係機関と連携を図り、短期間の利用者のニーズにも対応することができた。1日平均利用者数は3.8人で昨年度の3.2人を上回ったが、年間目標（4人）の達成には至らなかった。</li> <li>外部研修には積極的に参加したが、研修内容を報告する時間がなかった。</li> </ol>
訪問リハビリ	<ol style="list-style-type: none"> <li>利用者の拡大に努める。（1日利用平均42人。リハ・訪看含む総登録者数150人）。</li> <li>サービス担当者会議等へ参加し、他事業者と連携を図る。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1日平均利用者は40.5人で年間目標（42人）の達成には至らなかった。（28年度実績：39.9人） リハ・訪看含む総登録者数168人（4/1現在）</li> <li>*年間訪問件数（リハ・訪看含む）9,884件（28年度9,653件） 2.可能な限り会議へ参加し、他事業者等との連携に努めた。（会議出席件数：151件）</li> </ol>
居宅支援	<ol style="list-style-type: none"> <li>より適切なサービス計画を作成するために、サービス担当者会議開催に関するマニュアルの見直しを行う。</li> <li>年間720件のケアプラン数を維持した事業運営ができる。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>サービス担当者会議の手順書（簡易マニュアル）の作成により、会議の円滑な進行と内容の充実を図ることに努めた。</li> <li>年間のケアプラン作成は730件となり目標を達成できている。今後も継続できるよう努めたい。</li> </ol>
敬寿荘	<ol style="list-style-type: none"> <li>ケアセンター南昌の他事業所及び地域との連携・協力を得ながら、利用者の心身の健康維持に努める。</li> <li>研修・事例発表に積極的に参加し知識を深め、ケアの質の向上を目指す。</li> <li>利用定数の維持に努める。</li> <li>インシデント・アクシデントの事象・対応策の情報共有をし、再発防止に努める。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>保育園との幼老交流を始めとし、博愛荘、診療所とも連携を図り、利用者の心身の健康維持に努めることができた。また、地域との交流によって、外出の機会も増え、充実した生活を送ることができた。</li> <li>研修・事例発表に参加し、認知症の知識を深め、ケアの質の向上に繋げることができた。</li> <li>利用定数の維持は継続し、他事業者との密な連携により待機者の維持にも繋げることができた。（年間利用率99.9%）</li> <li>セーフティ委員会・医療安全委員会を通じ、事例に対して、全職員に周知し、再発防止に努めた。</li> </ol>

(参考資料)

ケアセンター南昌・施設の概要

- 1 建築場所 岩手県紫波郡矢巾町大字又兵エ新田第5地割335番地
- 2 建築物の概要（建築基準法第6条の2第1項・確認済証から抜粋）
  - (1) 建物名 医療福祉多機能ビル ケアセンター南昌
  - (2) 用途 児童福祉施設等
  - (3) 構造 鉄骨造（耐火建築物）
  - (4) 規模 地下1階・地上6階
  - (5) 建築床面積

フロアー	面積
B1階	516.11 m <sup>2</sup>
1階	2,013.34 //
2階	2,174.37 //
3階	1,637.37 //
4階	1,652.37 //
5階	1,652.37 //
6階	410.77 //
合計	10,056.70 //

※（他自動車車庫分：41.80 m<sup>2</sup>）

- (6) 敷地面積 4,573.72 m<sup>2</sup>
- (7) 建ぺい率 48.00%（2,195.55 m<sup>2</sup> / 4,573.72 m<sup>2</sup> × 100%）
- (8) 容積率 218.96%

3 施設建設総事業費 (単位：千円 消費税込)

事業名	金額	備考
建設工事費	2,205,000	
設備整備費	361,206	設備：259,954 厨房：101,252
設計管理費	47,250	(株)現代設計事務所
土地購入費	329,328	
総事業費計	2,942,784	

4 運用開始 平成25年2月1日（落成式：平成25年1月17日）

5 付設する事業所名等

	事業の種類	事業所名称	占有面積(共有部分は按分) m <sup>2</sup>	電話番号【階数】
医療法人社団 帰厚堂	診療所	こずかた診療所	1,165.9	019-698-3033 (1F)
	訪問看護	訪問看護ステーションやはば	27.7	019-698-1388 (1F)
	訪問リハビリ	訪問リハビリテーションこずかた	18.9	019-611-1380 (1F)
	訪問介護	ヘルパーステーションやはば	27.7	019-698-1385 (1F)
	訪問入浴	訪問入浴介護やはば	27.8	019-698-1385 (1F)
	居宅介護支援	やはば指定居宅支援事業所	10.4	019-697-0537 (1F)
	通所リハビリ	博愛荘デイケアセンター	264.3	019-697-1526 (2F)
	認知症対応型通所介護	デイサービスつむぎ	120.8	019-698-2015(代) (2F)
	介護老人保健施設	介護老人保健施設博愛荘	4,886.4	019-698-2015(代) (3F/4F)
	短期入所生活介護	ショートステイやはば	966.3	019-698-2015(代) (4F)
	認知症対応型共同生活介護	グループホーム敬寿荘	1,053.3	019-697-9002 (5F)
	在宅医療連携拠点	設置：矢巾町・紫波町 運営：紫波郡医師会（委託） 紫波郡地域包括ケア推進支援センター	(17.16)	019-611-1381 (1F)
	(南昌ホール)	(世代間交流センター)	451.6	
社福法人 敬愛会	保育所	こずかた保育園	1,009.4	019-698-3008 (2F)
	地域包括支援センター	矢巾町地域包括支援センター	26.2	019-611-2855 (1F)
他	医師会	紫波郡医師会	(17.3)	019-611-2211 (1F)

【計 10,056.7 m<sup>2</sup>】

※ケアセンター南昌： Tel 019-698-2015(代) Fax 019-611-2071